

NEWS RELEASE

2025年3月26日

株式会社 MCA

MCA、「携帯電話基地局及び周辺部材市場の現状と将来予測 2024年版」の販売を開始

～総務省発表値を基に2023年度のセルラーキャリアのLTE-A/5Gインフラ戦略及び投資動向と周辺部材市場をキャリアやベンダ、エンジニア会社など多角的な視点から総合的に分析～

移動体通信・IT分野専門の調査会社である株式会社MCA（所在地：東京都新宿区西新宿1-25-1、代表者：天野浩徳、TEL：03-5325-0222）が2025年3月26日に、調査レポート「携帯電話基地局市場及び周辺部材市場の現状と将来予測 2024年版～総務省発表値を基に2023年度のセルラーキャリアのLTE-A/5Gインフラ戦略及び投資動向と周辺部材市場をキャリアやベンダ、エンジニア会社など多角的な視点から総合的に分析～」（価格：税抜200,000円）を発刊しました。

「携帯電話基地局及び周辺部材市場の現状と将来予測 2024年版」
<https://www.mca.co.jp/itforecastreport/mobilebasement-market-2024/>

■調査背景

セルラーキャリア各社の2023年度決算をみると、各社の設備投資額はNTTドコモが5,593億円、KDDI（au）のモバイルは3,446億円、ソフトバンクの移動通信が2,528億円、楽天モバイルは1,776億円となった。2022年度に比べ、NTTドコモとKDDI（au）は微増、ソフトバンクと楽天モバイルが大幅減となり、UQコミュニケーションズとWireless City Planningを含めたモバイルキャリア各社の設備投資合計は前年度比12%減となる1兆3,609億円になっている。2024年度は楽天モバイルによる投資抑制により、同6.2%減の1兆2,770億円に落ち込むが、2025年度以降は楽天モバイルによる投資回復で1兆3,000億円規模で推移する見込みである。

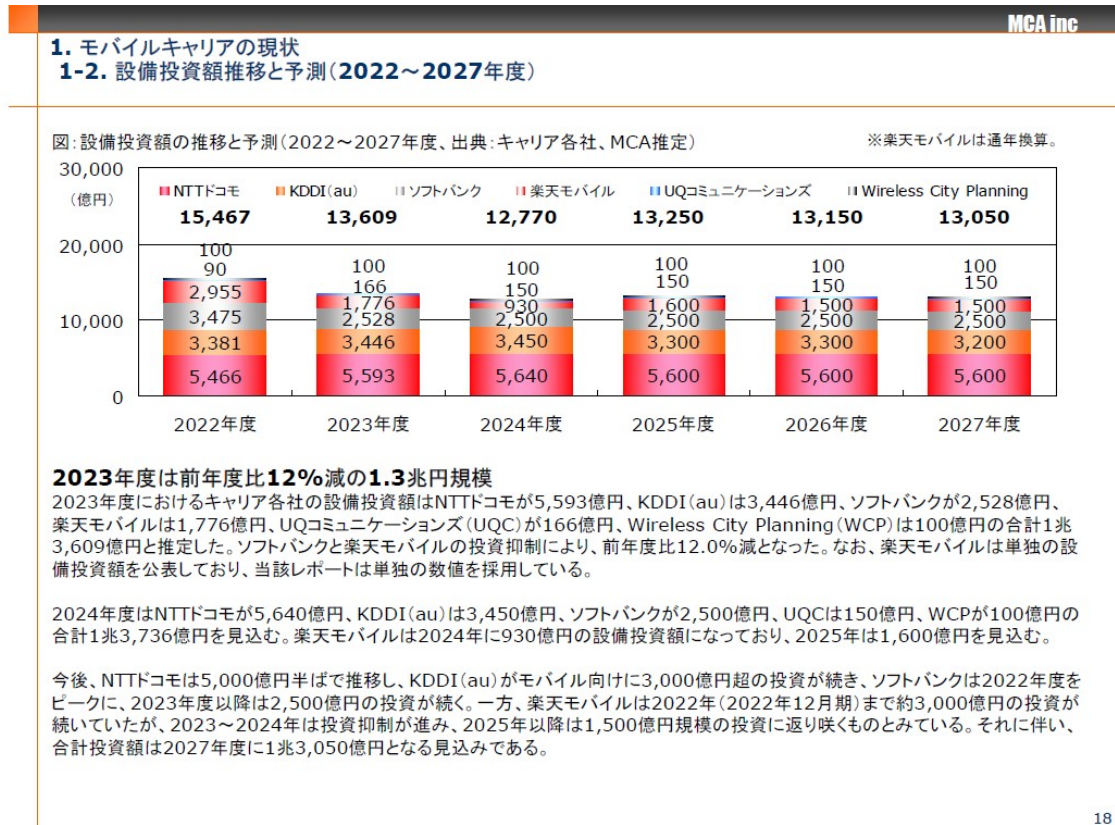
機器市場に関し、無線機市場はKDDI（au）と楽天モバイルの5G展開が盛況となった。第1位のエリクソン・ジャパン、第2位のノキアソリューションズ&ネットワークス、第3位のサムスン電子ジャパンの好調さはKDDI（au）の旺盛な5G展開による影響が大きい。第4位のNECもNTTドコモでの堅調さ、楽天モバイルでの5G展開が奏功している。

また、附帯設備は無線機に比べ、市場規模が小さいため、投資の浮き沈みの影響を受けにくい状況にあるが、電源と蓄電池市場は拡大した。エンジニアリング（通信建設）は投資額よりも、キャリア各社の基地局展開に大きな影響を受け、2023年度はKDDI（au）と楽天モバイルの旺盛な5G展開があったものの、市場規模自体は横ばいになった。

本調査企画は基地局及び周辺部材市場の現状やキャリアのインフラ戦略について、キャリアやベンダ、エンジニアなどへの多面的な取材を通じ、実態を把握し、予測することを目的としている。キャリアのインフラ戦略及び投資動向以外に、無線機やアンテナ、ケーブル、電源、蓄電池といった周辺部材、エンジニアリング市場の実態を明らかにする。

■調査結果抄録

1-2. 設備投資額の推移と予測（2022～2027年度）



18

■調査対象

分類	調査対象企業	
モバイルキャリア	NTTドコモ、KDDI (au)、ソフトバンク、楽天モバイル、UQコミュニケーションズ、Wireless City Planning	
ベンダ	無線機	エリクソン・ジャパン、ノキアソリューションズ&ネットワークス、サムスン電子ジャパン、NEC、富士通、エアースパン・ジャパン、KMW など
	アンテナ	電気興業、日本電業工作、コムスコープ・ジャパン、Tongyu Communication、日本アンテナなど
	ケーブル	フジクラ・ダイヤケーブル、コムスコープ・ジャパン、プロテリアル (旧日立金属) など
	電源	華為技術日本、GSユアサ、デルタ電子、新電元工業、オリジンなど
	蓄電池	GSユアサ、華為技術日本、パナソニック、エナーシス ジャパンなど
エンジニア会社	コムシスホールディングス (日本コムシス、サンワコムシスエンジニアリングなど)、エクシオグループ、ミライト・ワン、京セラコミュニケーションシステム、ドコモCS、KDDIエンジニアリング、SBエンジニアリング、楽天モバイルエンジニアリング、楽天モバイルインフラソリューション、レンドリース・ジャパンなど	

■調査レポートの主な目次

※詳細な目次は Web サイトの「レポート目次」をご参照ください。

<https://www.mca.co.jp/itforecastreport/mobilebasement-market-2024/>

はじめに

◆調査背景

◆調査対象

目次

1. モバイルキャリアの現状

1-1. 契約者数/業績/ARPU 推移と予測 (2022～2027 年度)

1-2. 設備投資額推移と予測 (2022～2027 年度)

1-3. 基地局数推移と予測 (2022～2027 年度)

1-4. 通信方式別基地局数推移と予測 (2022～2027 年度)

1-5. 現状の周波数帯保有状況

1-6. 周波数帯別基地局数推移と予測 (2022～2027 年度)

1-7. 追加割当周波数帯などの現況

1-8. 基地局投資額推移と予測 (2022～2027 年度)

2. 注目すべきキーワード

2-1. キャリア各社の 5G の取り組みと現状

2-2. Open RAN/vRAN の動向

2-3. Beyond 5G/6G の動向

2-4. シェアリングの動向

2-5. カーボンニュートラルの動向

2.6. キャリア各社における災害対策

2-7. 3G サービスの終了

3. 基地局関連機器・部材の動向とベンダシェア

3-1. 無線機

3-1-1. 市場動向

3-1-2. 無線機の動向・特長

3-1-3. キャリア別ベンダシェア (数量・金額)

3-2. アンテナ

3-2-1. 市場動向

3-2-2. アンテナの動向・特長、主要製品の主な仕様

- 3-2-3. キャリア別ベンダシェア (金額)
- 3-3. ケーブル
 - 3-3-1. 市場動向
 - 3-3-2. ケーブルの動向・特長、主要製品の主な仕様
 - 3-3-3. キャリア別ベンダシェア (金額)
- 3-4. 電源
 - 3-4-1. 市場動向
 - 3-4-2. 電源の動向・特長、主要製品の主な仕様
 - 3-4-3. キャリア別ベンダシェア (金額)
- 3-5. 蓄電池
 - 3-5-1. 市場動向
 - 3-5-2. 蓄電池の動向・特長、主要製品の主な仕様
 - 3-5-3. キャリア別ベンダシェア (金額)
- 4. エンジニアリングの動向とエンジニアリング会社シェア
 - 4-1. エンジニアリング
 - 4-2. 基地局工事体制・形態
 - 4-3. キャリア別エンジニアリング会社シェア (金額)
- 5. モバイルキャリア戦略及び基地局市場・部材市場の総括と将来予測
 - 5-1. モバイルキャリア各社のインフラ戦略総括
 - 5-2. 通信方式別投資額の推移と予測 (2022～2027 年度)
 - 5-3. 基地局投資額の内訳推移と予測 (2022～2027 年度)
 - 5-4. 基地局市場の総括と将来動向
 - 5-5. 基地局部材市場の総括と将来動向
 - 5-6. エンジニアリング市場の総括と将来動向

情報通信分野の市場調査「カスタムプロジェクト」のご案内

- カスタムプロジェクトのフロー
- カスタムプロジェクトのドメイン
- 過去のカスタムプロジェクト実績 (一例)
- クライアント属性
- カスタムプロジェクトに関する詳細・お問い合わせ

■調査レポート詳細

発行日：2025 年 3 月

判型：PDF ファイル (A4 版 222 頁)

発行・販売：株式会社 MCA
頒価：200,000 円（税抜）
調査期間：2024 年 2 月～2024 年 12 月
販売方法：pdf ファイルのダウンロード
申込方法：オンライン注文

■株式会社 MCA（MCA Inc.）の会社概要

設立時期：1993 年 12 月 1 日
代表者：代表取締役 天野浩徳
資本金：1,000 万円
所在地：〒163-0649 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 49F
事業内容：通信分野に関するコンサルティングやマーケティング事業
・カスタムプロジェクト（委託調査）業務
・IT Forecast Report（モバイル/IT 調査レポート）の企画/制作/販売業務

■本件リリースに関するお問い合わせ

株式会社 MCA（MCA Inc.、<http://www.mca.co.jp/>）
担当：大門（だいもん）
E-Mail：info@mca.co.jp
TEL：03-5325-0222